

科目名	一般教養B2							年度	2025
英語科目名								学期	後期
学科・学年	放送芸術科 1年次	必／選	必	時間数	30	単位数	2	種別※	講義
担当教員	畑 雅代		教員の実務経験		なし	実務経験の職種			
【科目の目的】 特に放送業界報道業務、あるいはドキュメンタリー制作バラエティ制作においては海外での撮影の機会が発生する。最低限英語でのコミュニケーションが取れることは非常に有益であり、日常的な会話にとどまらず専門的な（映像では常識的な）会話を習得することを目的とする。									
【科目の概要】 この授業では、文法ではなく、単語の羅列であっても会話を前提としたトレーニングを行う。									
【到達目標】 日常会話検定の合格を目標とする。撮影時のやり取りなどに特化したテキスト、試験の実施。									
【授業の注意点】 教員は、学生の勇気をもって発言した内容を否定しない。授業時数の4分の3以上出席しない者は定期試験を受験することができない。									
評価基準＝ルーブリック									
ルーブリック 評価	レベル5 優れている		レベル3 ふつう				レベル1 要努力		
到達目標 A ヒアリング	何を言っているか完全に理解している		ある程度は言っていることがわかる				何を言っているか理解できない		
到達目標 B 知識	映像の専門用語を、日本語と英語で理解できている		ある程度の専門用語を英語で理解している				英語での専門用語を理解していない		
到達目標 C スピーキング	映像の現場における挨拶や簡単な会話を英語で話せる		映像の現場において最低限の挨拶は出来る				映像の現場で固まっている		
【教科書】									
【参考資料】									
【成績の評価方法・評価基準】 期末試験									
※種別は講義、実習、演習のいずれかを記入。									

科目名		一般教養B2			年度	2025
英語表記					学期	後期
回数	授業テーマ	各授業の目的	授業内容	到達目標＝修得するスキル	評価方法	自己評価
1	資格と授業の説明		資格と授業の説明	日常的な会話を身につけることを目的と		
				することを理解する		
2	あいさつ 日常的な会話		あいさつ	オーソドックスな中でのバリエーションや		
			日常的な会話	端折り方を学ぶ		
3	静止画、動画の撮影許諾		静止画、動画の	人物の肖像の許諾、場所の許諾、映り込みの		
			撮影許諾	許諾、撮影のお邪魔などなど		
4	撮影現場でのやり取り ①		撮影現場での	専門的な言葉、言い回し、流儀を学ぶ		
			やり取り ①			
5	撮影現場でのやり取り ②		撮影現場での	カメラ、照明、音声における専門的な言葉		
			やり取り ②	などを学ぶ		
6	撮影現場でのやり取り ③		撮影現場での	俳優とのコミュニケーションを学ぶ		
			やり取り ③			
7	休憩・食事シーン		休憩・食事シーン	様々な食事の場面を想定し、言い回しを学ぶ		
8	編集現場でのやり取り ①		編集現場での	特に使用する機材の名称などを学ぶ		
			やり取り ①			
9	編集現場でのやり取り ②		編集現場での	作業における定型句含めた言葉の定型表現		
			やり取り ②	を学ぶ		
10	編集現場でのやり取り ③		編集現場での	作業における定型句含めた言葉の定型表現		
			やり取り ③	をさらに学ぶ		
11	日常的な屋外でのやり取り①		日常的な屋外での	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ		
			やり取り①			
12	日常的な屋外でのやり取り②		日常的な屋外での	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ		
			やり取り ②			
13	日常的な屋外でのやり取り③		日常的な屋外での	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ		
			やり取り ③			
14	日常的な屋外でのやり取り④		日常的な屋外での	買い物や観光でのコミュニケーションを学ぶ		
			やり取り ④			
15	まとめ・総括		まとめ・総括	ここまでの内容の確認を行う		

評価方法：1. 小テスト、2. パフォーマンス評価、3. その他

自己評価：S：とてもよくできた、A：よくできた、B：できた、C：少しできなかった、D：まったくできなかった

